

# 東アジアの交流と地域展開

北東アジア交流研究プロジェクト 藤井一二 編

▶ B5判・248頁／定価5,040円（税5%込）

ISBN978-4-7842-1639-0

2012年7月刊行

経済・文化・学術・観光の視点から北東アジアの「交流の多様性」を明かし、「アジア地域交流学」の構築を目指す金沢星稜大学ORCプロジェクト。

本書はその一環として2002～2004年度を中心に重点課題に掲げ共同研究を進めてきた「中国日系企業をめぐる動向と北陸地域企業の中国進出の現状」と「環日本海圏における経済・文化交流と歴史的環境」「北東アジアの交流と経済・文化」の成果を基礎とした成果。

## ◎ 内容目次 ◎

### I 部 東アジアの交流と文化

- 中国発見の日本《和同開珎》銭と国際交流 (藤井一二)  
日本・中国における史前文化交流の可能性と軌跡—紅山文化と縄文文化の盛衰を中心に— (王秀文)  
抗日戦争・国共内戦～朝鮮戦争期の中国東北における朝鮮人軍部隊 (滝沢秀樹)  
20世紀前半、旧満州における日本人ジャーナリスト (劉 愛君)  
外国人観光客への多言語サービス (河原利昭)  
日本飛鳥、白鳳、天平婦女服飾与敦煌比較研究 [中国語] (廬 秀文)  
日本飛鳥、白鳳、天平時代の女性の服装と敦煌との比較研究 [日本語]  
敦煌莫高窟早期三窟述論 [中国語] (蔡 偉堂)  
敦煌莫高窟早期における三窟に関して—莫高窟第268・272・275窟— [日本語]

### II 部 東アジアの交流と経済

- 韓国の経済・経営の進展と韓国日系企業の事業展開 (服部 治)  
韓中経済交流と中国進出韓国企業の経営行動 (黄 八洙)  
韓国の経済成長とその源泉について (木村正信)  
アジア経済における貿易・投資の変化と日本の対応 (茂木 創)  
北東アジアの経済統合にみる政治経済的課題 (川島 哲)  
日中間環境技術移転の市場原理によるパターン (龍 世祥)  
日本商業政策的分析 [中国語] (方 斌)

プロジェクト活動の軌跡／あとがき／執筆者紹介

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-751-1781 fax075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	東アジアの交流と地域展開		本体4,800円(税別) ISBN978-4-7842-1639-0	
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				

書店番線印

**東アジアの交流と地域諸相**

金沢星稜大学ORC北東アジア交流研究プロジェクト編

経済・文化・学術・観光の視点から北東アジアの「交流の多様性」を明かし、「アジア地域交流学」の構築を目指す金沢星稜大学ORCプロジェクト。本書はその一環として2005年に敦煌研究院の2氏を迎えて開かれた「アジア文化交流と世界遺産を語る」フォーラムの成果である。

▶B5判・170頁/定価3,360円

ISBN4-7842-1306-6

**東アジア経済史研究 第一集**

大阪経済大学日本経済史研究所編

日本における研究を発信するだけでなく、世界、アジアにおける研究情報を系統的に取り込み、データベース化し国際的な研究の発展と交流を目指して行われた第1回東アジア経済史研究会「近世・近代の東アジア経済史研究」の報告を基にした10篇を収録。

▶A5判・344頁/定価4,200円

ISBN978-4-7842-1498-3

**東アジアと『半島空間』 山東半島と遼東半島**

千田稔・宇野隆夫共編

山東半島と遼東半島は先史・古代あるいは中世頃までは、中国文明の出口であったが近代には日本を始めとした列強諸国による近代文明の侵入口であった。古代・中世から近代におよぶ通時的・学際的・国際的な議論を通し、東アジア文明論に新視点を与える。2002年国際日本文化研究センターで行われたシンポジウムの成果。

▶A5判・420頁/定価5,040円

ISBN4-7842-1117-9

**※中国五代国家論**

山崎覚士著

佛教大学研究叢書12

第一部「天下のうち」篇では「平王」などの爵位や藩鎮制、国書の検討から「中国」一諸国間の支配関係を考察し、第二部「天下のそと」篇では中国の権力構造に含み込まれつつも、海上に新たな国際秩序をつくらうとした呉越国に焦点をあてて論じる。既成の史観をはなれ、五代十国時代における「国家」の構造を明らかにする意欲作。

▶A5判・362頁/定価6,825円

ISBN978-4-7842-1545-4

**漢簡の基礎的研究**

大庭脩編

日中両国の研究者による漢簡の共同研究の成果

【内容】簡牘書體的巧能と特征(大庭脩・李均明・劉軍)/漢代太初曆考——漢簡に見られる『節氣』を手掛かりとして(吉村昌之)/日本における中国古印の研究(陳波)/中国簡牘研究文献目録[1903~1997年](門田明)など

▶B5判・220頁/本体13,000円

ISBN4-7842-1000-8

**高句麗壁画古墳と東アジア**

門田誠一著

先行研究ではなされなかった、同時期の東アジア地域の壁画史料との相関的検討を行う。塵尾や凭几など、壁画に描かれた威儀具・威信財にも着目し、それを持つ墓主の社会的位置づけや当時の価値観にも言及する。高句麗社会と文化の一端を復元し、古代のみならず、東アジアの歴史的時空の再構築をめざす労作。

▶A5判・448頁/定価9,030円

ISBN978-4-7842-1546-1

**近世東アジア海域の文化交渉**

松浦章著

海によって隔てられた東アジア諸地域間の交流は、波濤を越えた船の往来によって支えられていた。本書は清代帆船やその後に登場した汽船に乗って海を渡った人・物・書籍や文化をとりあげ、中国・日本・朝鮮・琉球などの人々の交流の諸相を明らかにする。

▶A5判・472頁/定価9,450円

ISBN978-4-7842-1538-6

**※中国近世における国家と禅宗**

西尾賢隆著

中国における仏教の姿を正しく把握すべく、4回にわたる廃仏のなかでも最大の「会昌の廃仏」を円仁の『入唐求法巡礼行記』等にもみるほか、異国の宗教を理解・受容するために編まれた『偽経・語録』、「僧制・清規」へと発展する戒律の受容などを検証した著者三十余年間の研究成果。

▶A5判・388頁/定価7,875円

ISBN4-7842-1289-2

**一八世紀日本の文化状況と国際環境**

笠谷和比古編

日本の18世紀の文化的状況はいかに形成され、それらは東アジア世界、また西洋世界までふくめたグローバルな環境下で、いかに影響を受けつつ独自の展開を示したか。多角的にアプローチした国際日本文化研究センターでの共同研究の成果23篇。

▶A5判・582頁/定価8,925円

ISBN978-4-7842-1580-5

**※一九二〇年代東アジアの文化交流 [全2冊]**

川本皓嗣・上垣外憲一編

大手前大学比較文化研究叢書

明治期の交流に比べて研究の事例も少なく、未開拓の部分も多い1920年代の東アジア文化交流の様相を、当該各国の研究者を結集することによって、明らかにする。

I ▶A5判・232頁/定価2,940円

ISBN978-4-7842-1508-9

II ▶A5判・274頁/定価2,625円

ISBN978-4-7842-1584-3

**立憲国家中国への始動 明治憲政と近代中国**

曾田三郎著

従来の単線・単純な辛亥革命史研究の枠組みを打開すべく、立憲国家中国の形成という観点から叙述する中国近代史。内閣制を中心とする行政制度の改革や、省制・省政の改革を軸に、大隈重信などの政治指導者や、有賀長雄のような伊藤系の法学者などの影響を具体的に把握することで、明治憲政の影響を動態としてとらえる。

▶A5判・400頁/定価8,400円

ISBN978-4-7842-1464-8

**青島の都市形成：1897-1945 市場経済の形成と展開**

樂玉重著

青島がドイツ・日本との間に持った経済関係や、その関係が築かれた歴史的要因、青島の経済発展の過程や特徴、さらに青島が全中国へ与えた影響を解明。日中両国の広範な資料を用いることにより、詳細かつ中立的・客観的な立場での考察を試みる。

▶A5判・364頁/定価7,140円

ISBN978-4-7842-1453-2

**※日中戦争についての歴史的考察**

明石岩雄著

日中戦争の全面化は、太平洋戦争への決定的転換点であった。またその結果は、日本の対中国政策の破綻でもありとともに、中国市場の全面的開放と開発という、国際資本の試みの挫折といえる。本書は、日中戦争の原因について歴史学から考察する。

▶A5判・352頁/定価5,775円

ISBN978-4-7842-1347-4

**※日中戦争から世界戦争へ**

永井和著

華北に利権を求める日本。イギリス・アメリカ・ソ連を相手にしてどのような対応をしたのか。日本が世界戦争への道を行く姿を明らかにする一書。【内容】東アジア20世紀史の中の日本/日中戦争と日英対立/日中戦争と帝国議会/日中戦争と陸軍慰安所の創設 など

▶A5判・516頁/定価7,980円

ISBN978-4-7842-1334-4

**※韓国「併合」前後の教育政策と日本**

本間千景著

佛教大学研究叢書8

第二次日韓協約から第一次朝鮮教育令発布後、すなわち韓国「併合」前後の期間に着目し、当該期の修身教科書への影響や教員の養成・日本人教員の配置など、現地における学校教育をとりあつかう。

▶A5判・300頁/定価5,880円

ISBN978-4-7842-1510-2

**朝鮮近現代史を歩く 京都からソウルへ**

太田修著

佛教大学鳳凰文化叢書20

近代史において朝鮮半島における植民地支配と戦争の歴史がどのようなもので、民衆が何を思ったのか。その歴史と縁のある場所を訪れ、その風景やモノを見たり人に会ったり、史資料を読み、ゆっくり考えた中から生まれた成果。

▶A4判・270頁/定価1,959円

ISBN978-4-7842-1450-1

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。